**「史跡岐阜城跡整備基本計画（案）」に対するご意見とそれに対する岐阜市の考え方**

**意見募集期間** 令和３年１０月１日　～　１１月１日

**意見提出数** ７通（直接提出：１通、郵送：０通、ファクシミリ：０通、電子メール：２通、意見提出フォーム：４通）

**意見項目数** 10件

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **項目** | **該当箇所** | **いただいたご意見の概要** | **岐阜市の考え方** | **変更の有無** |
| 第６章 | | | | |
| １ | 137ページ | 山麓居館跡を含めた夜間公開の拡大による、さらなる史跡の公開・活用を図ってはどうか。 | 史跡を舞台としたイベント開催を記載しておりますが、その中で、夜間も含めた岐阜城の活用を図ってまいります。 | 無 |
| ２ | 138ページ | 小学生の頃から岐阜城を学ぶ取り組みを進めてほしい。 | 計画では、学校教育との連携として、タブレットを活用した小中学生への情報発信の他、連携事業を検討・実施するとしております。今後も、継続的に取り組んでまいります。 | 無 |
| ３ | 138ページ | 信長コンテスト等、全国に呼び掛けるイベント等を実施してはどうか。 | いただいたアイデアを観光ビジョンや日本遺産事業と共有しつつ、官民で岐阜城や信長公をＰＲする取り組みを検討してまいります。 | 無 |
| ４ | 140ページ | 山麓居館跡の整備に関しては、ロープウェーから俯瞰した際の解説や、乗車待ち時間での散策など、ロープウェーと連携した活用を図るべき。 | ロープウェーはバリアフリー動線だけでなく、史跡を俯瞰できる公開活用施設として機能しております（82ページ）。活用に関しては、ロープウェーを始めとした様々な施設と連携を図ってまいります。 | 無 |
| ５ | 140ページ | 障がいをお持ちの方への配慮として、バリアフリー動線の強化延長を図ってはどうか。 | 岐阜城跡では、史跡を保護しつつバリアフリー動線を検討していく必要がありますが、計画では、今後の議論や技術の進展を踏まえて、あり方を検討していくとしております。 | 無 |
| ６ | 140ページ | 山上部遊歩道が雨等で濡れると滑りやすく危険。安全面に配慮した整備を行ってほしい。 | ご指摘のように、現在の石張り舗装は雨が降ると滑りやすくなっています。計画に下記の文章を追記しました。  「現在の舗装は雨が降ると滑りやすいため、再舗装の際には安全面に配慮する」 | 有 |
| ７ | 147ページ | 復興天守は観光のシンボルとしての役割があると思うが、歴史的な岐阜城の姿かというと違和感がある。史実に基づく信長時代の岐阜を山麓居館と合わせてみてみたい。 | 現在の復興天守はコンクリート造ですが、再建当時の研究水準で検討されたうえで建設されている点、地域のシンボルとなっている点、展示・展望施設として史跡の理解に貢献している点で、一定の評価がされる建物と考えております（106ページ）。  　このような現在に至る歴史も十分説明をしながら、調査研究の結果に基づく史跡整備を行ってまいります。 | 無 |
| ８ | 147ページ | 庭園や門、橋等を復元して、当時の姿を再現してほしい。 | 山麓部の庭園については、今後10年間（短期）において整備を推進するとともに、山上部の門跡や曲輪跡についても、発掘調査の成果に基づいて、可能であれば復元展示を行っていくことを記載しております（151ページ。） | 無 |
| ９ | 154ページ | 不要な看板は、撤去したほうが良い。 | 154ページにおいて、サイン計画を示すとともに、老朽化や不要となった看板の撤去を行うことを記載しております。 | 無 |
| 10 | 163ページ | 史跡と旧城下町地区の関係について目を向ける必要がある。学術的調査に基づく地図の作成や、まちの無電柱化や清掃等による景観向上、周遊環境整備を推進していただきたい。 | 本計画では、史跡範囲以外の地区で計画されている周辺整備と連携することで、地域一体の魅力向上を図るとしております。いただいたご意見は関係部局にも情報提供させていただきます。 | 無 |